

編集後記

今月号の特集は「あらためて見直すジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオの現状とワクチン」です。「序文—なぜ今あらためて見直すのか」で岡部先生が、予防接種の重要性と現在の課題を、簡潔にまとめられています。本特集を読み、自分が小児科医になった45年ほど昔の、ワクチンにかかわる出来事をあらためて思い出しました。1975年のDPTワクチン接種後の2例の死亡報告に始まり、その後短期間とはいえDPTワクチンの接種中止から接種率の大幅な低下、そして1979年には百日咳患者数が年間1万3,000人、約20人の死亡者を出すという、わが国の予防接種体制に大きな影響を与えた事例です。ちょうど1979年は米国の国立衛生研究所(NIH)へ留学中でしたが、百日咳菌の培養を担当部署に依頼したところ、百日咳は米国ではよくコントロールされているので百日咳菌の培地は用意されていないと言われた記憶があります。現在もこれほどジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオが、わが国の視点からも問題なのかと驚きました。いずれも大変インパクトのある論文です。

綜説欄には5編の論文が掲載されています。「健やか親子21(第2次)—すべての子どもが健やかに育つ社会を目指して」は、母子保健への取り組みの現状と課題が解説されています。健やか親子21推進協

議会が精力的に活動が続けていますが、残念ながら虐待に関する報道はあとを絶たず、子どもの自殺も減っていません。小児科医にとって「健やか親子21」は大きな課題です。「炎症性疾患に対する生物学的製剤の応用性」は、最近その使用が広がっている生物学的製剤について川崎病などをモデル疾患として、疾患の炎症病態を基に生物学的製剤治療について概説されています。「小児急性胃腸炎診療ガイドライン2017の解説—治療の標準化と安全な家庭医療の推進を目指して」の小児急性胃腸炎は、日常診療においてきわめて頻度の高い疾患であり、この夏に備えて大変有用な論文です。「非典型溶血性尿毒症候群(aHUS)の概説と疫学解析」のaHUSは、原因遺伝子の同定を基に治療薬が開発され、近年予後の改善が期待されている注目の疾患です。aHUSの診断・治療の最新のまとめをお読みください。「世界への情報発信—国際学会での発表のすすめ」は、若手読者に是非参考にしていただき、国際学会にデビューして欲しいと思います。

症例欄そして連載「小児科臨床教育の実際」も大変参考になります。

今年の暑さはどうなるのでしょうか。診療の忙しさと暑い毎日に耐えて頑張りましょう。

(河野 陽一)

編集：伊藤保彦・河野陽一・中西敏雄・岡部信彦・高橋孝雄(ABC順)

小児科

第60巻 第8号 7月号

2019年7月1日発行(毎月1回1日発行)

定価(本体2,700円+税)

年間購読料金

定価(本体42,100円+税)

[年間13冊(増刊号、増大号を含む)の誌代]

[年間予約購読者に限り送料無料]

※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14

Tel 03(3811)7165 [雑誌部直通]

Tel 03(3811)7184 [営業部直通]

Fax 03(3813)0288

<http://www.kanehara-shuppan.co.jp>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 Tel 06(6941)5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(TEL: 03-5244-5088, FAX: 03-5244-5089, E-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。